



お餅つきができるまで・・・

11月21日(土)に3年生がお餅つきをしました。この学習までに、長い月日をかけて学び続けた子どもたちの学習への意欲があればこそこの貴重な体験です。

4月よもぎつみから始まりました。おもちにいれるよもぎを摘み、冷凍保存しておきます。



4月の終わり、人間しろかきみんなの足で田んぼの土をしっかりとこねて、田植えの準備。泥の感触を味わいます。

5月のはじめ、田植えをします。大切な苗を丁寧に植えて、成長を願います。手つきも、なかなかのものです。



6月草取りは、大事な作業。したたかなヒエとイネを見分け、たくさんの草をみんなの協力であつという間

にとることができました。

9月。いよいよ稲刈りです。一株一株刈り取っていきます。手に実りの豊かさが感じられてうれしい瞬間です。



刈り取った稲を体育館の軒先の稲木に干して天日干し。その多くを鳥たちに食べられてしまい、鳥たちとの知恵比べです。

皇帝ダリア

在校生のご家族、山下さんが届けてくださいました。メキシコ地方原産で背が高く、秋深い11,12月頃に、ピンク色の花をいっぱい咲かせます。別名「木立ダリア」。登校するなぎさっ子を上の方から優しく見守ってくれています。

11月の生活目標

- すみずみまで掃除をしよう
- 読書をしよう

12月の生活目標

- 音楽会では、ふるえる心を発揮しよう
- 身にまわりの整理整頓をしよう

脱穀のあと、唐箕でゴミをとばし、いよいよもち米の収穫です。全て、古式ゆかしき手づくりが自慢。



千歯こきで穂からはずす脱穀。足ふみ脱穀も健在です。

餅つきは、石臼で杵を使って、一振り一振り手でつきます。



もちろん、きな粉は、自分たちで育てた大豆。ひき臼でひいて作ります。ほうろくで煎るので、香ばしいこと、この上なし。

なぎさの本物体験、手づくりの教材は、こうして子どもたちの心を豊かにします。これぞ、なぎさStyleなのです。